



平成29年度 茨城県優良図書

高校生・勤労青少年向け

※金額は全て税抜き表示です。

『空はいまぼくらふたりを中心に』

村上しいこ 著

(講談社) 1,500円



水泳部とうた部を掛け持ちしている諏訪業平は、高校最後の短歌甲子園を目指して部員たちと練習に励んでいた。そんな時、中学時代の同級生の「トキ」が転校してくる。交際相手の古畑清らや部員たち、「トキ」を巡る人間関係の中で、キラキラした青春ドラマが繰り広げられる。

『アウシュヴィッツの図書係』

アントニオ・G・イトゥルベ 著／小原京子 訳

(集英社) 2,200円



平和な時代では想像もつかないようなことが平然と行われていたアウシュヴィッツでは、本は禁じられていた。所持が見つければ即処刑、そんな苛酷な状況にありながら囚人たちによってひっそり作られた学校があった。その図書係に指名された14歳の少女ディタ・クラウスの運命は…。

『蜜蜂と遠雷』

恩田陸 著

(幻冬舎) 1,800円

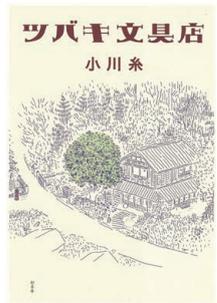


風間塵(16歳)、栄伝亜夜(20歳)、高島明石(28歳)、マサル・C・レヴィ・アナートル(19歳)。芳ヶ江国際ピアノコンクールを通して互いにその魅力にひかれながら成長していく。果たして優勝するのは誰か。音楽からイメージされる映像的な表現も圧巻!

『ツバキ文具店』

小川糸 著

(幻冬舎) 1,400円



鳩子は鎌倉で亡き祖母の店を引き継いでツバキ文具店を営んでいる。そんな鳩子のもう1つの仕事は代筆屋だ。その仕事に真摯に向かい合う鳩子と、彼女の仲間たちのふれあいにきっとあなたは共感し、心の中があたたかくなるだろう。

『ひかり生まれるところ』

まはら三桃 著

(小学館) 1,400円



神社で神職として働く希美には、誰にも打ち明けることができず、解決できていない過去のトラブルがあった。勤めている神社で起こる様々な事件を通して、自分と向き合い、過去の傷を乗り越えていく希美。きっと共感できる爽やかな青春小説。

『アレグロ・ラガッツァ』

あさのあつこ 著

(朝日新聞出版) 1,500円



美由はいとこの美しくフルートを吹く姿に影響を受け、中学生になって吹奏楽部に入部したが、心に傷を負い途中でやめてしまう。高校に入学後、友達の影響もあり、次第に傷ついた心が癒されていく。自分はどうかあるべきなのか、自分らしさとは何かという問いに向き合った青春小説。

『君はレフティ』

額賀滯 著

(小学館) 1,400円



記憶喪失になる前の「僕」は一体どういう「僕」だったのだろう…。橋から湖に落ちて記憶を失った古谷野真樹は、全く見覚えのない友人たちと不安な気持ちで学校生活を送っていた。そんな中、突然「7.6」の数字が現れる。謎を解きながらピュアな気持ちが見える恋愛小説。

このチラシに掲載された図書は、原則として、平成28年4月1日以降平成29年3月31日までに出版された図書で、図書館司書、読書団体、出版社等から推薦のあったものの中から「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の規定に基づいて推奨したものです。

図書を選ぶ際の参考としてご活用ください。

○お問い合わせ先

茨城県知事公室女性青少年課
茨城県水戸市笠原町 978 - 6
TEL 029 - 301 - 2183